

障害者支援施設 ゆすの里

生活訓練プログラム

生活訓練プログラムとは、生活訓練事業の対象者が「入所を希望する高次脳機能障害者」であることから、高次脳機能障害者支援プログラムのことである。

生活訓練プログラムの対象者は、生活訓練利用者は当然のことであるが、機能訓練利用者であっても、身体機能面に大きな問題はなく、高次脳機能障害が障害のメインである利用者も一部対象とする。



平成27年4月1日

I 目的

高次脳機能障害を有する利用者(以下「本人」という。)に対して、低下した能力を補うための代償手段を獲得する訓練・支援、社会で生活していく上で必要な技能を習得することにより自信を回復するための訓練・支援、就労に向けた作業活動を通して自身の課題に対する気づきを促すなど、障害に応じた様々な訓練・支援を行い、社会参加の促進を図ることを目的とする。

II アセスメント及び個別支援計画

- (1) 本人の置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通して、利用者の希望する生活及び課題等の把握(アセスメント)
- (2) 本人が自立した生活を営むことができるよう支援する上での適切な支援内容の検討

以上の結果に基づき、

- ① 本人及びその家族の生活に対する意向
- ② 総合的な支援の方針
- ③ 生活全般の質を向上させるための課題
- ④ 障害福祉サービスごとの目標及び達成時期

などを記載した個別支援計画を作成する。

III 訓練提供内容

1 各種リハビリテーション(基礎訓練): 作業療法士・心理判定員・言語聴覚士・理学療法士

リハビリ	訓練	目的と効果
作業療法 (認知療法含む)	ADL訓練	入浴、更衣、排泄等の日常生活動作についての手順を習得することにより自立を図る。
	把持把握動作訓練 巧緻動作訓練	上肢・手指の機能障害に対し、把持動作、巧緻動作の改善を図る。
	注意訓練	APT課題訓練を行い、注意機能の改善、回復を図る。
	記憶訓練	メモリーノートなど外的補助手段を活用し、環境調整を行うことにより、記憶機能の改善、回復を図る。
	遂行機能訓練	自己教示訓練や反復訓練などにより遂行機能の改善を図る。
	視空間失認訓練	半側空間無視をはじめとする視空間の認知障害に対し、視覚走査訓練等を行いながら改善、回復を図る。
心理・言語療法	カウンセリング	利用者が自身の力により問題解決ができるよう自己決定能力を高め、社会的行動障害や精神状態の改善を図る。
	絵画(HAT・バウム)、箱庭療法	非言語的な表現で感情を表出することにより、自己洞察力・治癒力を高め、精神状態の安定を図る
	失語症訓練	聴覚的・読解力訓練、換語・発話訓練、書字訓練等を行い、言語機能の改善及び手段の獲得を図る。
	構音訓練	呼吸・発声・共鳴・発声発語器官運動訓練等を行い言語機能の回復・向上を図る。

理学療法	関節可動域訓練	麻痺側上下肢幹部の可動域の改善を図る。
	筋力増強訓練	パワーリハビリなど筋力訓練により筋力の増強、体力の向上を図る。
	バランス訓練	座位・立位のバランス能力の改善を図り、移乗時や歩行時の転倒防止を図る。
	歩行訓練、車いす操作訓練	歩行能力を改善することにより、歩行の自立を図る。注意障害の観点から、歩行訓練(応用歩行)や、車いす操作訓練も重点的に行い、一般道路における歩行、車いす操作、交差点の横断ができるようにする。

2 メモリーノート(作業手順書): 作業療法士・支援員

日々のスケジュールや作業手順などを細かく記載したメモリーノートなど低下した能力を補うための代償手段の獲得を図る。

- ① 本人に不安や混乱を与えないために、一日の予定や週間スケジュールをわかりやすい形で提示する。
- ② 日課に沿って自ら行動できるようにするために、メモリーノートやスケジュール表・手帳など本人に適した代償手段の獲得を図るとともに、分かりやすい目印や案内表示をつけるなど生活しやすい環境を整える(環境調整)。
- ③ 訓練開始前に「朝の打ち合わせ」時間を設け、参加メンバー間で当日のスケジュールを確認する。
- ④ 訓練の終了後も一日の振り返りを行い、記憶の呼び起こしや代償手段の必要性を認識してもらう。

3 日常生活訓練(IADL): 作業療法士・支援員

服薬管理、金銭管理、金融機関や交通機関の利用など、社会で生活していくために必要な技能を習得することにより自信の回復を図る。

- ① 服薬管理
 - ・ 毎回渡しから1日渡し、1週間渡しと段階的に自己管理の幅を広げる。
 - ・ 1回分ずつ分けて入れられ、服薬の確認がしやすいカレンダー型のポケットケースや薬ボックスを活用するとともに、チェック表を渡して、服薬ごとにチェックしてもらう。
- ② 金銭管理
 - ・ 管理の方法について利用者及び家族と話し合い、期間と金額を決めて渡し、小遣い帳をつける。
 - ・ 定期的に小遣い帳と残高の確認を行い、管理に対する意識化や習慣化を図る。
- ③ 外出訓練
 - ・ 買物、市街地移動・金融機関・交通機関の利用など
- ④ 洗濯訓練
- ⑤ 調理訓練

4 社会生活技能訓練(SST):作業療法士・支援員

日常生活において抱えている問題について、編成されたグループ内で話し合い、その結果に基づき、実際に日常生活で繰り返すことにより、社会生活技能の改善・向上を図る。

- ① 身体機能及び認知機能の評価に基づき、グループを編成する。
- ② 以下の流れに沿って実施する。
 - ・ 目標設定(対人関係・感情のコントロール等)
 - ・ ウォーミングアップ(ミニゲーム・体操等)
 - ・ 練習することを決める。
 - ・ 1回目の練習(ロールプレイ)
 - ・ 良かった点を褒める。(正のフィードバック)
 - ・ さらに良くする点を考える。
 - ・ 必要に応じてお手本を見せる。(モデリングを職員が参加し行う)
 - ・ もう一度練習(ロールプレイ)
 - ・ 良くなった点を挙げる。(正のフィードバック)
 - ・ 練習したことを実際にやってみる。(宿題)
- ③ グループワーク
 - ・ グループで話し合いを行い、活動内容や役割を決める。
 - ・ 活動内容の例: 週間・月間の予定表作り、外出のための段取り、清掃活動、レクリエーションなど

5 就労準備訓練:作業療法士・支援員

メモリーノート(作業手順書)などの代償手段を活用しながら、様々な作業活動に取り組むことで、自身の就労に向けた課題への気づきを促す。

- ① 幕張式ワークサンプル等を用いた訓練
 - ・ 作業内容手順の確認
 - ・ 支援者の適切な助言(リアルフィードバック)
 - ・ 環境調整
 - ・ 難易度の調整
 - ・ 対処法の検討
- ② 履歴書作成、模擬面接
- ③ 就労継続支援事業所B型と連携し、就労体験
- ④ 毎回、就労準備訓練後にフィードバック

IV 生活訓練のグループ及び訓練対象項目

グループ		A	B
目 標		就労や地域生活への移行、施設等における社会適応能力を獲得し、自立した社会参加を目指す	職員による見守り支援を要する。施設等における社会適応能力の獲得を目指す
障害 害の 重症 度	施設での日常生活が自立している	特に問題なし	問題あり
	他利用者との適切な人間関係を構築できる	特に問題なし	問題あり
	訓練の指示に従える	特に問題なし	問題あり
訓練 項目	基礎訓練	○	○
	メモリーノート	○	○
	日常生活訓練	○	○
	生活技能訓練	○か△	—
	就労準備訓練	○か△	—

○：訓練対象

△：訓練対象ではあるが制限あり(障害特性によって訓練に適応することが困難な場合あり)

—：訓練対象外

V 家族支援

家族からの相談に応じるとともに、社会資源に関する情報提供や勉強会等を実施する。

① 家族からの相談

- ・ 障害に関する知識、本人に対する適切な支援の仕方についてアドバイスする。
- ・ 家族の抱えるストレスに対してカウンセリングを行い、ストレスの軽減、障害の理解や受容の促進を図る。

② 社会資源に関する情報提供

- ・ 社会保障制度に関する情報提供（精神障害者福祉手帳、障害年金など）
- ・ 地域移行に関する情報提供（地域移行後に利用可能な障害福祉サービスに関する情報提供）

③ 勉強会等

- ・ 同じ立場の関係者との意見交換や交流の場として、懇談会やピアカウンセリングの機会を設定

VI 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
9:00	1 ミーティング ①	シーツ交換	ミーティング ①	ミーティング ①	ミーティング ①	ミーティング ①
10:00	2 グループ活動 A・B	ミーティング ①	グループ活動 A・B	基礎訓練	グループ活動 A・B	基礎訓練
10:45 11:00		基礎訓練				
11:30	3 ミーティング ②	ミーティング ②	ミーティング ②	ミーティング ②	ミーティング ②	ミーティング ②
12:00						
13:00	4 グループ活動 A	・リハビリ体操 ・グループ活動 A・B	グループ活動 A	・リハビリ体操 ・グループ活動 A・B	グループ活動 A	
13:45 14:00						
14:45	5 ミーティング ③	ミーティング ③	ミーティング ③	ミーティング ③	ミーティング ③	
15:00	入浴		入浴		入浴	
16:30						

◎ 基礎訓練 : 作業療法、心理・言語療法、理学療法

◎ グループ活動 : グループに分かれて、日常生活訓練、生活技能訓練、就労準備訓練を実施

◎ ミーティング① : 健康チェック、前日の課題確認、当日のスケジュール確認

◎ ミーティング② : 午前中の確認、午後のスケジュール確認

◎ ミーティング③ : 一日の振り返り、翌日の確認

